

## ボランティア・プランナー 任命者リスト

	地域	氏名（任命日）	所属・役職	主な活動
1	北海道 旭川市	柿木和恵 （平成 23 年 3 月 9 日任命）	農業（水田） 旭川市東鷹栖の女性生産者グループ「野土花（のどか）」メンバー「華クラブ」代表 旭川市農業委員	収穫した様々な野菜の加工食品等を野土花ブランドとして販売。自家製ベリー類を使ったジャム、米・小麦のパン・お菓子等を製造。米粉を使った料理の講師、修学旅行生受入などにも取り組む。
2	北海道 札幌市	川端美枝 （平成 23 年 3 月 9 日任命）	フードコーディネーター （有）フードアトラス代表取締役 イタリア料理「イルピーノ」経営	勤めていた銀行を退社、イタリアへ語学留学する傍ら、フードコーディネーターの資格を取得。現在イタリア料理店などを経営する一方、フードコーディネーターとして北海道産食材を使った商品開発や食文化の創作活動にも取り組む。野菜ソムリエ講師、料理教室講師としても活躍し、食の大切さを普及。
3	北海道 札幌市	木村光江 （平成 23 年 3 月 9 日任命）	b a m b i c（バンビック）代表 料理講師 「浜梨かふえ（ハマナスカフェ）」経営	NHK札幌放送局リポーターを経て、北海道フードマイスター、野菜ソムリエ、雑穀エキスパートを取得。地産地消をコンセプトに平成 19 年「浜梨かふえ」オープン。平成 22 年「北海道らしい食づくり名人」認定登録。23 年度から yes!clean 普及事業協力（PR イベント・クッキング講座・レシピ提供等）。イベント MC、地産地消クッキング講師、農業体験イベント企画、地場農産物を活用した加工品やメニュー開発などの食に関する活動や、野菜の自家栽培から食材の仕入れなども行う。
4	北海道 札幌市	七島ひとみ （平成 23 年 3 月 9 日任命）	道産食彩 HUG マート 店長	札幌市の直売店を経て現在の「HUG マート」店長に就任。北海道内の契約生産者、加工業者から委託された無農薬、有機栽培などの農産物や原材料を使用した加工品など、約 7 千アイテムを登録し、販売アイテム数は常時 3,000 程度用意。年商 2 億円以上の売り上げを継続。
5	岩手県 遠野市	菊池ナヨ （平成 23 年 4 月 20 日任命）	あやおり夢を咲かせる女性の会 会長 企業組合 夢咲き茶屋 理事	平成 10 年、道の駅「遠野風の丘」に農家レストラン「夢咲き茶屋」を開店。そばやおにぎりの他、遠野伝統の餅菓子類を提供。食材は会員その他、地域の農業グループからも仕入れ、地域農業に貢献。
6	岩手県 紫波町	橋本正成 （平成 23 年 5 月 27 日任命）	（株）銀河農園 代表取締役	平成 16 年にドラッグストア経営から農業（トマト水耕栽培）に転身。トマトジュースで県知事賞受賞。

7	山形県 東根市	安達茂夫 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	(有)安達農園 代表取締役 山形県農業法人協会 会長(平成 22 年まで)	観光果樹園で、さくらんぼ、桃、ぶどう、リンゴ を生産。ジュースも年間 10 万本生産。直売所 での販売や宅配も行う。
8	富山県 高岡市	浦上節子 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	高岡市農業センター 副所長	地元農産物の生産・加工者の相談的存在として 活躍中。地元産の米と野菜を使った「とことん高 岡井」を考案。
9	石川県 金沢市	しじまや 四十万谷直美 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	(株)四十萬谷本舗 取締役	地元産の野菜や漬物を使ったジェラートの開発 に取り組み、規格外野菜の有効活用につなげてい る。シニア野菜ソムリエ。
10	福井県 福井市	見谷春美 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	(有)ファームビレッ ジさんさん 副代表	意欲的な県内農家グループを母体とした直売所。 米パン工房と農家レストランを併設。
11	栃木県 那須塩 原市	月井美好 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	(有)ハーレー牧場 代表取締役	大手通信会社を早期退職し、実家の酪農を継承。 牛乳製造販売に取り組むほか、ゴーダチーズを委 託製造し自社ブランドで販売。
12	群馬県 昭和村	澤浦彰治 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	(株)野菜くらぶ農業 生産法人グリーンリー フ(株) 代表取締役	群馬県、青森県、静岡県で地域特性、標高差を利 用したトマトの通年出荷に取り組むほか、こんに ゃく、野菜の生産・加工、新規就農者の育成を行 っている。
13	埼玉県 秩父郡	町田恒夫 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	(有)小松沢レジャー 農園 代表取締役	秩父地域の豊かな自然を生かし、年間を通じた観 光農業という農業経営を創出する等、埼玉農業の ビジネスモデルとなる創造的で革新的な経営を 実践。
14	千葉県 香取市	木内博一 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	農事組合法人和郷園 代表理事 (株)和郷 代表取締役	和郷園ブランドの野菜の生産・販売、冷凍野菜の 製造に取り組む。リサイクル事業、海外展開など 多様な事業を実施。
15	神奈川 県 川崎市	坂本洋子 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	神奈川県農業経営士 協会副会長 女性委員長 ふるさとの生活指導 士	露地野菜 80ha、酒米・餅米 20a を生産。野菜は全 量直売。加工所を整備し、味噌、菓子食品、赤飯・ 餅・漬物を製造・販売。
16	長野県 下伊那 郡	小池芳子 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	小池手作り農産加工 所(有) 日本特産物協会マイス ター、長野県マーケテ ィングマイスター	自社の農産物や地元の規格外農産物等を加工し た惣菜やジュース等を地元の直売所、スーパーで 販売。食品衛生の知識も豊富で、添加物の無い加 工を実現。売上額は 3 億 5 千万円にのぼる。
17	愛知県 豊橋市	中野和久 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	(株)サイエンス・クリ エイト 代表取締役専務	東三河における産学連携支援、食農産業クラスタ ー推進事業、インキュベーション推進事業を推進 するほか、年間を通じて技術者研修事業を開催。

18	愛知県	横山順子 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	食農産業クラスター協議会 クラスターマネージャー	110農家と食品メーカー10社を連携し研究会を運営。豊橋特産青じその価値創造を目指した商品開発で地域ブランドの確立を目指す。
19	愛知県 名古屋市	大槻恭久 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	ダイスビュー(有) 代表取締役 食農連携コーディネーター	渥美半島産トマトを使用したカクテルの製造・販売事業に関する2者連携や、農薬不使用豊橋産レモンを用いたパン等の製造・販売事業に関する2者連携等の事業化・市場化を支援。
20	滋賀県 東近江市	池田喜久子 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	農業生産法人 (有)池田牧場 専務取締役	イタリアに単身修行に行き、平成9年から牛舎の隣でジェラートの加工販売を開始。農家レストランも併設。
21	京都府 京都市	山田敏之 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	農業生産法人 こと京都(株) 代表取締役	京の伝統野菜 九条葱の生産・加工・販売。生産は、京都市を中心に亀岡・美山で季節に合わせて産地リレーし、加工した葱は全国のラーメン店はもとより、全国のスーパー・百貨店に販売。
22	大阪府 枚方市	堅島五兵衛 (・は外字。左上「田」、 右上「又」、下「土」 でよみがな「の」) (平成 23 年 5 月 27 日任命)	農園 杉・五兵衛 代表 大阪府農業法人協会 会長	生産・加工・販売(農園レストラン)の一貫した農業経営。園内ではロバ、ヤギ等を介しての有機循環農法を展開。
23	和歌山 県 有田市	秋竹新吾 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	農業生産法人 (株)早和果樹園 代表取締役	高糖度みかんを用いたジュース、ゼリー等を製造。成城石井等の高級店で販売。
24	広島県 三次市	平田克明 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	(有)平田観光農園 代表取締役会長 (株)三次ワイナリー 取締役	県職員退職後、観光農園を設立。園内で採れた果実、地元の野菜を用いた西洋料理店、田舎料理店等を展開。
25	山口県 山口市	<sup>かずあき</sup> 坂本多旦 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	みどりの風協同組合理事長 船方農場グループ 代表	大規模酪農経営。農場を都市住民に開放して交流。農産物加工・販売や宅配にも取り組む。
26	徳島県 上勝町	横石知二 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	(株)いんどり 代表取締役社長	上勝町農業協同組合時代に「葉っぱビジネス」を企画開発。地域づくりの基本戦略や産業福祉論を提唱。
27	高知県 馬路村	東谷望史 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	馬路村農業協同組合 組合長	昭和50年代から柚子加工品の販売を始め、平成18年には売上が33億円を超えるまで発展させた中心人物。
28	福岡県 福岡市	新開玉子 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	(有)ぶどう畑代表取締役・農産物直売店「ぶどう畑」店長 福岡県指導農業士	女性農業者による農産物直売の会社を設立。直売所は農家女性4人で運営。都市農村交流拠点として消費者に情報を発信。

29	熊本県 菊池市	松岡義博 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	(株)コッコファーム 会長 社団法人日本農業法人協会会長	物産館、レストラン、農産加工室、コミュニティーホール等を併設する複合施設「たまご庵」を運営。
30	大分県 日田市	緒方英雄 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	(株)おおやま夢工房 取締役	一村一品運動の原点となった旧大山町の参事を経て3セクの現職に。特産の梅を使用したリキュール工房、特産品販売所、食事処、宿泊所等、総合的な施設を運営。
31	鹿児島県 鹿屋市	豊重哲郎 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	鹿屋市串良町柳谷公民館 館長	銀行勤務等を経て平成8年に現職。地域おこしのリーダー。行政に頼らない地域再生・自主財源確保に、集落営農・焼酎やねだん・土着菌製造販売、また古民家を迎賓館に活用すること等を実施。
32	沖縄県 南城市	大城浩明 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	農業生産法人(有) トロピカルファーム たまぐすく 代表 県農業法人協会会長	農産物の直売だけでなく、加工品開発、ふれあい農園体験、新規就農者や修学旅行者のホームステイ受入に取り組む。
33	沖縄県 宮古島市	上地登 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	農業生産法人(有) 大嶺ファーム 代表	マンゴー栽培のほか、観光農園では直売、マンゴーソフトクリームの製造販売、熱帯植物の展示をし、年間2万人の観光客が訪れる。
34	沖縄県 那覇市	加力謙一 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	農業生産法人(株) あいあいファーム 経営企画室長	有機野菜・果物の生産のほか、関連会社のレストラン、居酒屋に食材を供給。ITを活用し消費者との連携を推進。
35	沖縄県 西原町	石垣盛康 (平成 23 年 5 月 27 日任命)	沖縄県農業会議 経営構造コンダクター	元農業改良普及員(普及指導員)。島野菜の消費拡大を目的として、ゴーヤーフェスタ、夏野菜フェスタ等を企画、開催。
36	大分県 大分市	帆足キヨ (平成 23 年 7 月 6 日任命)	吉野食品(有) 代表	大分の伝承料理「鶏めし」を伝える食育活動を実践する一方、「鶏めし」製造販売会社を設立。東京や大阪などに販路を拡大。
37	愛媛県 宇和島市	山下由美 (平成 23 年 7 月 6 日任命)	J A えひめ南女性部 津島支部長	仲間とともに「津島あぐり工房」を結成し手づくり味噌や焼き肉のタレ等の加工品を商品化。平成21年からは、「手作りパン工房みなみ」のチームリーダーとして、地元産米を原料とする米粉パンの製造・販売に取り組む。
38	福島県 会津若松市	横田純子 (平成 23 年 7 月 6 日任命)	N P O 法人素材広場 理事長	「地産地消」の理念を掲げ、地域の生産者と、旅館・販売所等とのマッチングを行い、地元観光関係事業の発展に寄与。
39	北海道 足寄町	黒田雅行 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	十勝植物活性利用協同組合(十勝パウク) 代表理事	山林のクマザサ等の有効成分を利用した新商品(クマザサエキス及びエキス入りスイーツ等)の開発等を行っている。また、営業代行会社「株式会社 北のささ」を設立。上記商品のほか、十勝・足寄町等の特産・名産品を販売。

40	北海道 札幌市	鈴木宏一郎 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)北海道宝島旅行社 代表取締役社長 (株)北海道宝島トラベル代表取締役 (合)北海道ふるさとづくりセンター代表社員	北海道グリーンツーリズムネットワーク事務局長。 北海道の体験型・滞在型・交流型の観光資源(宝物)を整理・編集し、付加価値・希少価値の高いツアーを企画・立案・運営。
41	北海道 札幌市	鈴木善人 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)リープス 技術士(農業部門) 代表取締役社長	地力豊かな土づくりを中心に、付加価値の高い農業経営の実現に向けて経営計画、戦略策定、ブランディングなど総合的にサポート。また、農業者のみならず、様々な異分野のクリエイターたちと連携する取組を支援。
42	北海道 苫小牧市	高橋賢孝 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)イワクラ 管理部技術開発室 室長代理	木材の有効利用などのため、間伐材による土木製品開発や林地未利用材を利用した木質ペレットを生産。林地残材集荷のノウハウを有する土木建設会社や、低価格な燃焼機器を開発する会社と連携し、ペレットの販路拡大を図る。
43	北海道 中富良野町	九栗貞子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	北のカレー工房きらら 代表 北海道女性農業者倶楽部(マンマのネットワーク)会長	減農薬米の生産を中心とするクリーン農業に取り組むとともに、地元農村の女性たちと夏季限定のカレーレストラン「北のカレー工房きらら」を運営。ドライフラワー体験教室にも取り組む。
44	青森県 五所川原市	角田周 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	津軽地吹雪会 代表	風雪と寒さを逆手にとった「地吹雪体験ツアー」などを定着させ、雪とほとんど縁のない地域からの観光客を中心に数多くのファンを生み出したほか、新たなイベントを次々と手がけ、広域観光ネットワークづくりを推進。
45	岩手県	菊池新一 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	特定非営利活動法人 遠野山・里・暮らしネットワーク マネージャー	遠野市のグリーン・ツーリズムや道の駅「遠野風の丘」の立ち上げ、ショッピングセンターの再生、コミュニティビジネスの振興に携わるほか、人材育成、農家民宿、農家レストラン等の実践コンサルティング等に取り組む。
46	岩手県 花巻市	志村尚一 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	有限会社ウィルビー 代表取締役 劇団ぜんとうようようくらぶ 代表	全国で「協働による地域活性」「6次産業化」「リーダー育成」など幅広いテーマで講演、研修を行う。時代が抱える問題を題材にした演劇を上演し好評を得る。6次産業化を進める企業、農業法人のコンサルタントも多数。

47	岩手県 洋野町	佐々木松一 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	北部産業(株) 代表取 締役	個人製炭者が主流を占めるなか、企業製炭に取り 組み、山村地域の活性化に尽力。 主力製品の「なら切炭」の他、粉炭、木酢液、さ らにこれらを利用した混合飼料等を全国販売す るとともに、木炭の新用途研究に力を入れている。
48	岩手県 盛岡市	鈴木寛人 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	岩手県復興局産業再 生課主査	岩手県の水産技術職員(普及指導員等)として異 業種連携によるご当地フィッシュバーガーの開 発、「三陸いわて漁師ブログ」の企画運営等に参 画。現在は、岩手県復興局にて水産業を中心と した地域産業の復興に尽力。
49	岩手県 盛岡市	五日市知香 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	株式会社パイロット フィッシュ 代表(商 品開発コーディネー ター) 岩手大学 客員准教 授 食農連携コーディネ ーター	商品開発の企画・マーケティング・パッケージ デザイン・商品名・販路などをコーディネート。 農業女性生産者さんが作る「ごはんの友 5つ の味わい」「ピクルス」、三陸の漁師さんが作る 牡蠣の燻製のオリーブオイル漬け「山田の牡蠣 くん」等数多くの商品をコーディネート
50	岩手県 一関市	前田眞 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	協同組合産直センタ ーひがしやま 理事長	直売所の理事長として、直売所の運営や経営改善 に取り組む。また、地域5農家団体の学校給食事 務局として広いネットワークを持つ。
51	岩手県 一関市	佐々木善子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	農家レストラン夢見 る老止の館 代表 出前餅つき隊「餅・も ちグループ」 代表	生活改善グループ(現在の生活研究グループ)に 入会以来、食文化や食品加工など食に関する活動 に取り組む。現在は、地域の伝統の餅文化を生か し、自宅を改築した農家レストランを経営。出前 餅つきも実施。
52	岩手県 宮古市	盛合敏子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	岩手県漁協女性部連 絡協議会	岩手県宮古市の重茂漁協女性部のリーダーとし て、魚食普及活動や海の環境を守る活動等を推 進。現在は、東日本大震災で壊滅的な被害を受け た漁業の復興のため、ワカメ等の生産再開へ向け 尽力。
53	宮城県 加美町	加藤 重子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	農事組合法人やくら い土産センター さんちゃん会 代表理事組合長	宮城県内の先陣を切って農産物直売の活動を展 開し、順調に発展。町のアグリビジネスの牽引役、 地域リーダーとして、農家民宿の代表、農協の女 性部長等も努める。

54	宮城県 遠田郡	庄司和弘 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	庄司和弘経営コンサル ティング事務所	宮城県仙台市の無農薬有機栽培の野菜農業者の 6 次化支援等、数多くの事例をコーディネート
55	宮城県 石巻市	阿部都 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	阿部農園	J A の常設直売所にて、自家製の米・野菜を使っ た弁当、漬物、総菜等の販売を実施。J A いしの まき女性部フレッシュミズふたば会の会長とし ても活躍中。
56	宮城県 栗原市	鈴木春江 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	農家レストラン「お食 事処四季味」 栗原市農業委員	農薬・化学肥料節減栽培として環境にやさしい農 業を実施。農家レストラン「お食事処四季味」に て地場産、自家製など食材にこだわりのある食事 を提供。
57	宮城県 美里町	伊藤恵子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)はなやか 代表取締役 みやぎアグリレディ ス(女性農業委員の 会)会長	農畜産物の生産・加工・販売(惣菜、菓子、漬物) を行うとともに、農家レストランを運営。味噌や 豆腐づくりなどの体験教室も実施。
58	宮城県 仙台市	早坂みどり (平成 23 年 8 月 29 日任命)	設計事務所「住空間工 房」代表 2級建築士 インテリアコーディネ ーター	青森ヒバ、スギ等の地域材を使った木造住宅など の設計施工に取り組むほか、NPO 法人を立ち上 げ環境教育、木造住宅の勉強会など行い、森林を 守ることと木材を使うこととの両面を実践。ま た、雑誌「シルバン」を編集・発行し、東北の森 林文化・木の文化を伝える。
59	宮城県 仙台市	針生信夫 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)舞台ファーム	仙台市にて米、野菜等による 6 次産業化や震災復 興支援に積極的に取り組む。
60	秋田県 仙北市	若杉清一 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	秋田内陸縦貫鉄道株 式会社 代表取締役 社長 田沢湖高原リフト株 式会社 代表取締役 社長	(株)リクルート、安比総合開発(株)を経て、(株) 秋田ふるさと村、田沢湖高原リフト(株)など第 3 セクター企業の再生に尽力。

61	秋田県 仙北市	田口久義 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	特定非営利活動法人 田沢湖ふるさとふれ あい協議会 代表理事	仙北市内でのスキー修学旅行の受入、農作業体験を行う修学旅行の受入の先駆者であり、農村滞在型修学旅行ビジネスにより地域活性化に貢献。
62	秋田県 仙北市	泉牧子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	仙北市総合産業研究所 地域資源活用専門員	地元食材を使用した手作りの弁当等を販売する、JAによるコンビニ「JA(じゃ)ンビニ」の仕掛け人。食育、伝統食の復興と郷土料理の開発等に力を入れる。現在は地域資源活用専門員として、活動している。
63	秋田県 仙北市	門脇桂孝 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	有限会社門脇木材 代表取締役	植林から製材品販売までの一貫した林業経営を行うほか、旧家(曲り家)や地域の農地・林地を活かした宿泊生産体験にも取り組む。また、「森の駅」を建設し、テーブル等木材加工製品販売を通して地元雇用の拡大に貢献。
64	山形県 山形市	木村一義 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)シェルター 代表取締役	接合金物と大断面構造用集成材を組み合わせた KES 構法により、各地の森林組合、設計事務所、工務店そして自治体等と連携した公共建築物等を多数手がける。また、山形県や岩手県で植林・育林を行う森づくり活動を展開。
65	山形県 寒河江市	工藤順一 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	観光カリスマ工藤事務所	さくらんぼのオーナー制を全国に売り出したことを皮切りに、数々のユニークなアイデアを形にして、一躍「寒河江」の名を全国へ広めた。観光農業だけでなく地域おこし、6次産業化など幅広い分野で活躍。
66	山形県 金山町	栗田キエ子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	「暮らし考房」主宰	山形県のグリーン・ツーリズムの先駆けとして、山村での暮らし体験に取り組む。「内山節の山里哲学精舎」を毎年開催し県内外から多くの人々が訪れるほか、メープルサップ(イタヤカエデの樹液)商品の開発等も行う。
67	山形県 山形市	新関さとみ (平成 23 年 8 月 29 日任命)	さとみの漬物講座企業組合	インターネットや直売所での漬物販売及び作り方講座を中心に、総合サービスの漬物事業を展開。山形の伝統的食文化を伝える活動も実施。



68	山形県 小国町	山口英彦 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	小国町森林組合 代表理事 組合長	組合員が出荷する山菜・きのこ類等に付加価値を付けて直売所等で販売し、確実な現金収入の道を提供。また、林地残材の利用推進のためチップ工場を設置し、床暖房や融雪のためのチップボイラー及び製紙工場への供給も行う。
69	山形県 金山町	栗田和則 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	暮らし考房 主宰	カエデの樹液を利用したソフトクリームや、エゾウコギを利用したビール等を商品化し、丸の内の飲食店の運営にも参加。また、ジャパンメープルサップ&シロップ協会を立ち上げ、新たな森林文化の創造に取り組む。
70	山形県 真室川町	栗田 幸太郎 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	指導農業士	自らの農業経営を通して地域農業の振興や農業青年の育成を行う「指導農業士」として 16 年間活動に従事。 平成 15 年から山形県指導農業士会会長を務め、平成 20 年には全国指導農業士連絡協議会副会長に就任し、平成 23 年から同会会長に就任。
71	福島県 いわき市	斎藤一彦 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	常磐興産株式会社 代表取締役社長	独創的なアイデアと行動力で温泉施設を全国区の温泉テーマパークに育て上げ、地元雇用を創出するなど地域経済の活性化を実現し、斜陽の石炭城下町を、観光を基幹産業とする地域に転換・再生させることに貢献。
72	茨城県 笠間市	本橋修二 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	茨城県農業総合センター 主任専門技術指導員	農産物直売や農産物加工組織や経営体の育成、商品開発、販売活動等について活動支援・助言するとともに、地産地消活動・6次産業化を支援する普及指導員を育成。
73	茨城県 常陸大宮市	河西和文 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	個人	しいたけを生産し、近隣の道の駅で8割を販売するほか、東京の飲食店とも直接取引している。また、県と共同で地元中学校でしいたけ栽培教室を実施。平成 23 年の原木しいたけ生産者大会において、6次産業化について講演。
74	茨城県 日立市	佐渡淳三 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)魚武 専務取締役	既存の流通に乗せにくく低価格未利用・低利用の漁獲物を活用した新たなメニュー開発に取り組み、経営する飲食店や連携する地元飲食店で提供。今後、広域的な集客に結びつく特産品化を図り、一層の活性化を目指す。
75	栃木県 鹿沼市	齋藤正 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(有) 高見林業 社長	林業家主導で「顔の見える木材での家づくり」を行う「日光地区木材流通研究会」代表。建て主が大黒柱になる木を選んで伐採する等、フルオーダーメイドの仕組みを導入。

76	群馬県 みなかみ町	林作夫 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	個人	生しいたけ、乾しいたけを生産し、地域の温泉旅館や農林水産直売所「たくみの里」で販売。規格外のものも粉末にして袋詰めしている。また、前橋市のスーパーと年間単価契約を結び安定した収入確保を図っている。
77	埼玉県 川越市	日疋好春 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)ひびき 代表取締役	埼玉県ブランド豚のやきトン串の販売を通じ、埼玉産にこだわった事業を展開している。川越周辺で異業種の川手経営者と川越 S t y l e 倶楽部を立ち上げる地域のブランド力をアップする交流会を開催する等、様々な取組を行っている。
78	埼玉県 飯能市	井上淳治 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	NPO法人西川・森の市場 代表理事	西川材の普及と木材の有効利用を目的に工房「木楽里」を開設。また、顔の見える家づくりをサポートするため、森林所有者から素材業者、製材所や材木店、建築設計者、工務店等関係者と NPO 法人西川・森の市場を設立。
79	埼玉県 吉川市	高山幸久 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)サイゼリヤ	長年、業務用向け食肉・食肉加工品、青果物等の調達分野の責任者を歴任し、2005年からは、同社の商品開発及び仕入れの責任者として業務を推進。年間を通して、国内産地を廻る他、海外産地における開発も積極的に手掛ける等、同社の商品開発を支えるグローバルマーチャンダーとして活躍されている。
80	千葉県 八千代市	加藤寛昭 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	食と農研究所 代表 中小企業診断士	北海道において大手電子機器メーカーの(大型施設園芸による)農業参入を実現したほか、現在は食品企業在籍中に修得した製品開発のノウハウを活用して、農産物を原料とした商品開発等の支援を主体にした活動を展開。
81	千葉県 富里市	仲野隆三 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	富里市農業協同組合 常務理事	JA と食品産業をつなぐコーディネーターとして活躍。
82	千葉県 市川市	福井功 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	食農連携コーディネーター 有限会社キャメルスタジオ 代表	鳥取県各地域におけるブランド化、梨ドリンク、梨チューハイ等の商品化等、数多くの事例をコーディネートするとともに、千葉県での農商工連携も手がける。
83	千葉県 東金市	鵜澤由明 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(財)農村開発企画委員会 推進員	交付金や補助金の活用による農業の6次産業化に向けた施設整備基本計画づくりについて全国を対象とした現地アドバイス活動や、都道府県・市町村が開催する費用対効果分析に係る研修会で指導・助言を行っている。

84	千葉県 千葉市	山田勝昭 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)銚子丸	約 20 年以上携わる。大手のファーストフードチェーンを中心に外食産業の仕入・商品開発に携わり、数多くの生産者の商品の長所を引き出した産地食材を活用したメニュー商品開発においては、定評があり、現在、(社)日本フードサービス協会の食材調達・開発等委員会の委員も務めている。
85	千葉県 船橋市	山口伸昭 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	山口総合コンサルタント 代表取締役	30 年以上、ステーキ、焼き肉、居酒屋チェーン等の外食産業のトップマネジメントとして活躍、特にマーチャライジングの分野では、国内外の様々な食肉の仕入・調達の責任者として手腕を発揮、現在はその経験を生かし、コンサルタント業務を手掛けている。
86	東京都 目黒区	草場佳朗 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	有限会社草場企画 代表	特産品を高級食材として首都圏の一流シェフにマッチング等、地域資源のブランド化等の事業を数多く手がける。
87	東京都 千代田区	駒谷行雄 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	全国農業協同組合連合会 肥料農薬部	農産物直売所の設置を支援する立場から、候補地選定、店内レイアウトや運営システム導入助言、職員教育等の指導を行うとともに、継続的に直売所運営に対する助言を全国各地で実施。
88	東京都 日野市	福井隆 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	東京農工大学大学院 客員教授	農産物等を使った特産品開発、ブランド化に向けたマーケティング指導、関係者の合意形成、人材育成支援等を全国各地で実施。(実績例：梨のランニングウォーター(広島県世羅町)、じゃばら果汁(和歌山県北山村))
89	東京都 青梅市	大場 龍夫 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	株式会社森のエネルギー研究所 代表取締役	森林バイオマス資源の利用推進に実践的に取り組んでおり、バイオマス利用に関する基礎調査からプラント・機器の導入・運用まで全面的にサポート。講演も多数行っている。
90	東京都 中央区	飯村一樹 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	銀座農園株式会社 代表取締役社長	農家が集まるマルシェ、農家の加工品を中心としたアンテナショップ、香川県・徳島県・茨城県・三鷹市のアンテナショップ、飲食店のほか、中央区・港区で水田交流事業などを運営、都市と農村を結ぶ事業を展開。

91	東京都 港区	池田正昭 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	毎日アースデイ株式 会社 代表	小径木からでも割箸を量産する技術を開発し 間伐材のカスケード利用をはかる。使用後の割 箸や生産工程で発生した端材やおがくずも、ペ レット燃料やオガコとして活用を見込む。港区 立エコプラザ施設長。
92	東京都 中央区	仲野彰芳 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)仲野水産 専務取締役	漁業者と連携しながら小型アジ、シイラなど未利 用魚を惣菜商品化し、卸売業の経営で培ったネッ トワークを活かしながら外食産業等への販売を 実践。
93	東京都 中央区	鳥巢研二 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	株式会社キースタッ フ 代表 中小企業診断士	青森県深浦町雪人参農家と菓子・惣菜メーカーと の農商工連携構築、群馬県上野村特産白まいたけ 等レトルトカレー、岡山県女性農業者の果実ドレ ッシング等の加工特産品開発、さらには長崎県九 十九島漁協いりこの6次産業化等地域農林水産 資源を活用した加工特産品開発・6次産業化・農 商工連携構築の数多くの先駆的な事例を立ち上 げた食と農の経営コンサルタント。
94	東京都 千代田 区	吉岡靖二 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(財)都市農山漁村交 流活性化機構 地域活性化部 部長	GTによるまちづくりの支援活動を全国で担当。 地域における GT 実務者育成、ビジネス起業のた めの各種研修会、広報、調査を担当。 講師経験豊富。研修事業を通じての人脈豊富。
95	東京都 千代田 区	宍戸信一 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(財)都市農山漁村交 流活性化機構 グリーン・ツーリズム 部 部長	平成 10 年よりグリーン・ツーリズムの人材育成 研修の運営・講師及び各種講演を行い、平成 20 年から帝京大学観光経営学科にて農家民宿開業 論の講師も務める。文部科学省や環境省等での各 種事業の検討委員にも就任。
96	東京都 千代田 区	花垣紀之 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(財)都市農山漁村交 流活性化機構 地域活性化部 次長	グリーン・ツーリズム及び子ども農山漁村交流プ ロジェクト(農林漁家泊による学校教育旅行)等 に関する研修会講師。全国 180 箇所以上の受入地 域協議会を登録・紹介。国内旅行取扱管理者、防 災士等の資格保持者。
97	埼玉県 宮代町 (東京 都千代 田区)	金子正美 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)新しい村 アグ リ生産事業部 審議役 (現在、(財)都市農山 漁村交流活性化機構 プロジェクトきこう 部に出向中)	宮代町総合交流施設「新しい村」の農産物直売所 の店長として、立ち上げから、地域特産品開発、 近隣直売所間との連携、学校給食への地元農産物 提供や地産地消活動等に携わる。現在は営農も含 め6次産業化を推進。

98	東京都 千代田 区	金澤俊行 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(有) コアアソシエイ ト T S 代表 (元全漁連技術顧 問)	日本水産の工場長として H A C C P の実践に取り 組み、現在も N P O 「H A C C P 実践研究会」 顧問としての活動を通じて、水産加工業界の衛生 管理向上に尽力。付加価値の高い商品開発へのア ドバイザーとしても活躍。
99	神奈川 県相模 原市	天野 良英 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	個人	焼津水産ブランド等、各地のブランド化の指導を 行うほか、お茶を活用した機能性食品や涙のでな いタマネギ等の商品化にも取り組む。
100	東京都 中央区	飯野公敏 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	テナライド (株) 取締役商品部長	年間を通じ、全国の産地と連携し、地場の食材を 活用したメニュー化を積極的に推進。居酒屋チェ ーンで夏のメニューとして定着した「だたちや 豆」は、同社がブームの火付け役。(社) 日本フ ードサービス協会食材調達・開発等委員会の委員 としても活躍。
101	東京都 品川区	田中長寿 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株) 大庄 商品部長	1,000 店舗を超える企業規模を活かし、全国の国 産食材を積極的に活用。食材のおいしさと鮮度向 上を図るため、グループ内に物流・加工会社を設 立。様々な角度から産地商品の開発が推し進めて いる。
102	東京都 品川区	青沼弘 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株) ビーエム 代表取締役社長	日本フードサービス協会が主催する産地見学交 流会に積極的に参加し、そこで出会った山梨、長 野、北海道、そして熊本等の生産者(農家)と連 携し、食材を吟味。同社の温野菜メニューとして 積極的に取り入れる等、顧客からの好評を得てい る。協会の理事を務めている。
103	東京都 渋谷区	中田寿夫 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	日本ケンタッキーフ ライドチキン(株) ピザハット常務執行 役員	同社のピザハット事業部の商品開発責任者とし て、全国の国産食材を吟味し、メニューに取り入 れている。(社) 日本フードサービス協会が企画・ 実施する産地見学交流会にも積極的に参加し、青 森県のにんにく、新潟県産の米粉等を取り入れた メニューにも取り組んだ実績を持つ。
104	東京都 大田区	山崎峰子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株) マコト 代表取締役	国産食材の素材の持ち味を活かし、弁当、惣菜、 ケータリング事業を展開している。女性経営者の 感性を活かし、同社が手掛ける総菜店「えびす大 黒」では、国産食材を使った数多くの日替わりメ ニューが多く並び、評判を呼んでいる。

105	東京都 渋谷区	山中辰郎 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株) ラケル 代表取締役	「ヨード卵・光」をはじめとする栄養価の高い食材を使用した商品開発、新鮮で安心・安全の野菜・果物、十穀米を提供する他、発芽胚芽米を用いた米粉パンの商品開発など、経営者として国産食材への取り組みに積極的に取り組んでいる。
106	東京都 大田区	山口雅彦 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株) リンガーハット 執行役員生産本部長	これまで冷凍野菜を使用していたメニューも含め、平成 21 年 7 月からは、キャベツ(年間 6,500 トン)、さやえんどう、青ネギ、玉葱、コーン等の全ての使用野菜を国産に切り替える等、同社の食材調達の責任者として手腕を発揮。現在、全国 30 箇所以上での契約的取引を推進している。
107	神奈川県	杉浦孝則 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	宮坂醸造 KK 執行役員	東京都と神奈川県を中心に全国で味噌造り、味噌汁作りを通して食育、地域活性化の活動を行っている。 現在、神奈川県では、相模原市緑区津久井の農業者「石井好一」氏らとともに、小学生に大豆栽培から味噌造りの食育を行い地産地消の PR 及び農業への理解を図っている。 このほか、宇宙大豆プロジェクトにおいても中心的な役割を果たすなど、幅広い食育、地域興し活動を展開している。
108	長野県 茅野市	藤木徳彦 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	フランス料理店 エスポワール オーナーシェフ	地元食材にこだわったレストランを経営するとともに、長野県内各地で地域食材を活用したメニュー作りや料理講習会を多く手がける。また、全国の生産者から相談を受け、地方自治体の食を基盤にしたアドバイザーを引き受けている。
109	長野県 伊那市	寺澤茂通 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	上伊那森林組合 バイオマス・エネルギー 一室長	間伐材や林地残材等を利用して木質ペレット「ピュア 1 号」を製造し、代理店を通じ販売。公共施設等のペレットボイラー、ペレットストーブで利用されている。15 年度には上伊那地域の全小中学校にペレットストーブを貸与。
110	静岡県 磐田市	後藤正哉 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	イタリアンレストラン ラ・カンティーナ オーナーシェフ	シェフとして、地元産食材を使用した料理を提供するとともに、家庭で簡単にできる、イタリア料理の教室等を開催。また、磐田食文化研究会の代表幹事として、「磐田おもしろカレー」の開発に中心になって取り組む。

111	静岡県 三島市	渡辺豊博 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	NPO 法人グラウンドワーク三島 事務局長	大学卒業後、静岡県庁に入庁。2007 年に農学博士号を取得し、2008 年都留文科大学文学部社会学科教授。市民活動論や富士山学などを開講。本業の傍らグラウンドワーク三島を含め、4 つの NPO 法人の事務局長職を歴任。
112	静岡県 熱海市	泉澤宏 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	網代漁業	漁獲物の市場外流通を担う共同体制を漁業者等と構築。最低落札価格を設定し、仲買人が落札しなかった魚は直接出荷販売を実施するなど、魚価の向上、水揚げ金額の増加に貢献する取組を実践。
113	静岡県 伊東市	日吉直人 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	JF いたう漁業協同組合 代表理事専務	低迷する魚価の向上と「伊豆の地魚を新鮮な状態で味わってほしい」との思いから、漁協直営食堂「漁師めしや 波魚波(はとば)」を開設。未利用魚を活用したメニューなどを展開。また漁協の販売力向上を目指す取組を實踐中。
114	静岡県 焼津市	山口直貴 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	協同組合焼津水産加工センター	金融機関勤務の経験を活かし、水産加工団地(約 20 社立地)の運営をまとめ、その経営効率化や環境配慮型工場への転換を推進。また、生産・加工・流通連携による焼津の水産加工品の販売促進等についても助言。
115	新潟県 新潟市	長嶋信司 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)総合フードサービス 代表取締役	社員食堂や学校等の給食サービスにおいて、地場野菜の利用を推進する流通専門会社を設立。市内農家から野菜を直接仕入れるほか、自社で生産した野菜を利用。また、中心市街地に直売所を設置したり、収穫体験を開催。
116	富山県 黒部市	富山俊二 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	くろべ漁協直売所 支配人(元参事)	漁協職員として、魚価の低迷や後継者の確保難の打開のため、直売所開設等各種取り組みを實踐。また、漁協は、地域の観光振興にも貢献する一連の取組が評価され、平成 22 年度地域づくり総務大臣表彰(団体表彰)を受賞。
117	富山県 朝日町	弓野良子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	農事組合法人食彩あさひ 代表 富山県地域活性化グループ協議会 会長	地域の女性たちとともに、安全で新鮮な野菜づくりや各グループの農産加工品の開発、商品化に取り組む。食彩あさひにおいては、朝日町特産の農産物を使った加工品、惣菜・弁当などを製造、販売。

118	石川県 白山市	宮子外喜子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	宮子花園・ ハーブ専門店「花香房 夢見草」	ハーブ栽培に取り組むとともに、加工場と喫茶コー ナーを併設したハーブ専門店にて園芸講座、寄せ 植え、アレンジフラワーの講習会、ジャムづくり 体験教室等を開催。
119	石川県 金沢市	門村和永 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	金沢森林組合 代表理事組合長	造園・ガーデニングの相談、イベントや出張教室 の開催、間伐材による土木・建築資材の制作・販 売、GPS 等を駆使した森林整備時の境界確定。石 川県森林公園や金沢市の医王の里オートキャン プ場の運営・管理を受託。
120	石川県 小松市	橋本孝一 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	加賀白山麓観光ネッ トワーク協同組合 代表理事	白山麓・南加賀を中心に交流人口拡大を図るた め、人と自然の共生による都会と白山麓のエコー ツーリズムの橋渡しを行う。 次世代へつなぐ環境作りなど里山里海での滞在 型体験で、広域観光を仕掛ける。
121	福井県 越前市	田中滋子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	とことんお米倶楽部 代表 ロハス越前 事務局長	今立型エコ・グリーンツーリズム推進協議会を設 立し、農家民宿、農業体験、オーナー制度等を今 立地区(旧今立町)で展開。市町合併を機にロハ ス越前を設立してこれを継承。18年3月に米粉パ ンの工房を起業。
122	岐阜県 郡上市	三島真 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	郡上八幡・山と 川の学校 校長	子ども達・家族が参加する自然体験旅行、里山の 農業と暮らしを学ぶ会員制講座の企画、情報誌の 制作など地域の各種団体と連携した都市農村交 流事業を展開。
123	岐阜県 中津川 市	内木篤志 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	加子母森林組合 代表理事組合長	地元や東京の工務店と連携したヒノキの家造り を実施。ヒノキによる建築意欲を高める森林ツア ーを行う。また、SGEC 森林認証を取得した山林の 木材の高付加価値化や、林齢が価格に反映される 販売に取り組む。
124	岐阜県 東白川 村	村雲和裕 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)ふるさと企画 代表取締役副社長	東白川村の村おこし会社(村民が出資した第3セ クター)を運営し、体験をキーワードに都市との 交流でふるさとツーリズムの振興や地域の特産 品の開発、製造販売を展開し、東白川村の活化に 取り組んでいる。



125	愛知県 碧南市	新美みどり (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)にいみ農園 取締役	ミニトマトを栽培し直売所や独自の宅配システムにより販売。また、ミニトマトを原料とするミニトマトジュース、ジャム、ケチャップ等の加工品の製造・販売にも取り組む。
126	三重県 大台町	西覚嗣 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	E2 リバイブ(株) 代表取締役	山村振興の使命感のもと、間伐で生じる小径木・枝葉等の木質エネルギー利用拡大に向けて林業からペレット製造・木質焚焼機器販売・エネルギー利用まで一貫して事業化。山村経済活性化及び若者の雇用拡大を目指して奮闘している。
127	三重県 大台町	大西かおり (平成 23 年 8 月 29 日任命)	NPO 法人大杉谷自 然学校 校長	官設民営型として設立されたNPOにおいて、過疎高齢化の著しい大杉谷地域をフィールドに地域の教育力(自然・人・文化)を活かした環境教育プログラムの提供を行う。
128	三重県 多気町	北川静子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(有) せいわの里 代表	「農村文化を次の世代に伝えたい」という想いから、地域の女性たちとともに、(有) せいわの里を設立。豆腐、味噌の製造販売の他、農家レストラン(まめや)、農産加工体験講座等多彩な事業を展開。
129	兵庫県 神戸市	西馬きむ子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(有) ヘルシーママS UN 代表 全国生活研究グルー プ連絡協議会 会長	有機農業に携わる女性に呼びかけ、「ヘルシー・ママ・SUN」を結成。消費者との交流や直売に取り組む。また、有機野菜農業体験型宿泊施設グランメールを運営。有機農業体験や農村の暮らし体験も実施。
130	兵庫県 多可郡 多可町	細尾勝博 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	J Aみのり 非常勤監事	豆腐の製造・販売・飲食、農業体験等の機能を備えた施設「エアレーベン八千代」を開設。出荷奨励金等により地元産大豆の生産を振興し、多様な豆腐製品を商品化。全国各地で直売所の整備や運営面の助言を行う。

131	兵庫県 多可郡 多可町 八千代 区	藤原たか子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	マイスター工房八千 代 施設長 兵庫県女性農業士	長年に渡る、生活研究、食品加工などの経験を活 かし、農産物加工品直売所「マイスター工房八千 代」の施設長に就任。地元食材を活用した「天船 巻き寿司」を販売し、年間売上げは約 1 億 8 千万 円。
132	奈良県 奈良市	勝本吉伸 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	オフィス シンセニ アン 代表	農産物直売所「あすか夢販売所」の店長として、 「新鮮で品質の良い農産物の提供」を基本に、販 売を拡大。農産物直売所コンサルティング事務所 を設立し、直売所の課題解決や開設に際しての助 言、加工品のマーケティングを行う。
133	奈良県 吉野郡 吉野町	中井章太 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	中神木材 代表	吉野ウッドプロダクト（吉野町内の若手経営者 を中心とした組織）のメンバーで、吉野材の原 点である樽桶の復活から木のある暮らしの実 現を目指す。「銘木と銘酒の町」等の各種イベ ントで情報を発信している。
134	京都府 南丹市	中澤守弘 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	フランス料理オーベ ルジュナカザワ オーナーシェフ	獣害対策で捕獲したシカを利活用するために京 都府が設置した「南丹森の恵み利活用専門協議 会」の中心メンバーとして、シカ肉を使ったジビ エ料理を開発。レストランで提供するとともに、 シカ肉を提供す店舗数の拡大にも貢献。
135	和歌山 県和歌 山市	山根博信 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(有)「鮮魚の達人」 代表取締役	卸売市場の仲卸として、魚価向上、水産物の付加 価値創出の必要性を痛感し、規格外水産物の商品 化や魚食普及活動に取組む。全国の仲卸 60 社以 上・60 人のネットワークを形成し、漁業者と消費 者をつなぐ全国的な活動も推進。
136	和歌山 県 古座川 町	倉岡有美 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	農事組合法人 古座 川ゆず平井の里 総務・営業統括責任者	ゆずの栽培、ゆずを使った加工、販売、体験交流 事業を実施。 若者からおばあちゃんまで地域を支える雇用を 考える農事組合法人古座川ゆず平井の里を運営。
137	和歌山 県田辺 市	原拓生 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	紀州原農園 代表 農業法人株式会社き てら（秋津野直売所 「きてら」） 代表取締役	地域資源（熊野古道や、年中ある果実等）を軸に 「観光」を重視した地域振興を行っており、秋津 野直売所「きてら」では、地元の柑橘だけを使っ た「俺ん家ジュース」等も手掛ける。

138	広島県 広島市	河尻義孝 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	日の丸産業(株) 副社長	木炭の燃料以外での活用についての第一人者。木炭の宣伝、業界の後継者育成に取り組む。モットーは、「家庭内におけるオール炭化」(オール電化に対抗)。また、木炭による樹勢回復や炭と鉄による水性生物圏の再生に取り組む。
139	島根県 松江市	岸本純子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	株式会社ナレッジリンクス 代表取締役	隠岐(離島)4島のコーディネーターとして足掛け3年活動。島根、鳥取を始め県内外の普及指導員、経営指導員、担当行政職員等と協力体制で食農連携に取り組むとともに、生産者、加工者、販売者をプロジェクト化・ネットワーク化し、商品開発・販路支援を展開する。
140	広島県 廿日市市	安田孝 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(有)安田林業 代表取締役	約4,000haの山林を管理し、搬出する全ての素材を原木市場を通さず直販。「太田川流域S G E C ネットワーク」設立し、適切に管理された山から、明確な加工・流通過程を経て、消費者に木材を供給する取組を実施。
141	広島県 世羅町	後由美子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	世羅町6次産業推進協議会 コーディネーター	世羅高原6次産業推進協議会コーディネーターとして活動。6次産業化ネットワーク体制づくりの仕掛け人。平成17年度日本農業生活学会支援活動賞を受賞。平成18年度から交流サポーター。元広島県生活改良普及員。
142	岡山県 津山市	鈴木康正 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	津山ホルモンうどん研究会 代表	養蜂業の傍ら、まちづくりに取り組んでおり、農業者の視点を生かして地産地消を推進している。平成17年「津山ホルモンうどん研究会」を結成。代表として、全国にPR、情報発信をしている。全国のB級グルメの祭典「第4回B-1グランプリ」で3位を受賞。
143	岡山県 真庭市	植木啓司 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	農業生産法人ひるぜんワイン(有) 専務取締役	岡山県6次産業化グループ協議会会長。農業生産法人ひるぜんワイン有限会社専務・農学博士。山葡萄ワインは2006年度むらおこし特産品コンテストで最優秀賞、2011国産ワインコンクールにおいて銅賞を受賞。
144	岡山県 真庭市	中島浩一郎 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	銘建工業株式会社 代表取締役	日本有数の集成材・製材業者。工場使用電力の大半をバイオマス発電で賄い、売電も実施。安定的なペレット生産等、木質バイオマス利用で先進的取組。真庭市バイオマス事業の一翼を担う。NPO法人「21世紀の真庭塾」塾長。

145	岡山県 英田郡 西粟倉村	牧大介 (平成23年8月29日任命)	株式会社 西粟倉・森の学校 代表取締役	「村の総合商社」として地元材を使った住宅の提案、内装木質化、家具等の製作、体験ツアー等に取り組む。少量多品目の間伐材加工システムを確立し、原木を売る村から製品を販売する村への転換を実現、地域の雇用創出に貢献。
146	山口県 山口市	秋川 實 (平成23年8月29日任命)	(株)秋川牧園 代表取締役会長	秋川牧園代表取締役会長。健康で安全な食べものづくりにこだわった農業。農業の会社として日本で初めて株式上場を行った。自社農産物、加工品の会員制産直宅配も行っている。
147	山口県 萩市	中澤さかな (平成23年8月29日任命)	道の駅「萩しーまーと」駅長	大手出版社の広報・宣伝・マーケティング分野の担当から2000年に公募により萩しーまーと駅長に就任。山口県の水産物等の地産地消、首都圏販売促進等を通じ、中四国地域の道の駅年間売上高最高施設を達成。
148	高知県 須崎市	村上幸二 (平成23年8月29日任命)	全国水産業改良普及職員協議会 会長(高知県産業振興推進部 地域産業振興監)	高知県の水産技術職員(普及指導員等)として漁業者による6次産業化の取組をサポート。高知県での6次産業化取組事例を中心に、講演、専門誌への寄稿など幅広く活動。
149	高知県 吾川郡 いの町	中嶋健造 (平成23年8月29日任命)	NPO法人 土佐の森・救援隊 事務局長	地域に根ざした自伐林業方式の再生と、林地残材等の収集運搬システムを組合せた「土佐の森方式」の普及による、副業的な林業の仕組みを構築。地域と連携し独自の地域通貨券(モリ券)を発行。他地域へも波及している。
150	高知県 香美市	小松康三 (平成23年8月29日任命)	(特例財団法人)奥物部開発公社べふ峡温泉 所長兼料理長	農林業の被害対策のため捕獲したニホンジカの有効活用として、同温泉に解体・加工施設を設置し、シカ肉の料理・商品開発に取り組む。「シカドッグ」は、平成23年5月に行われた「土佐の食1グランプリ」で優勝。
151	高知県 馬路村	山田佳行 (平成23年8月29日任命)	(株)エコアス馬路村 総務企画課係長	「森を育てる」「森を集める」「森を加工する」「森を販売する」ことの循環に取り組む「エコアス馬路村」に勤務。間伐材を使用した独創的なバッグなどの新たなデザイン商品を国内・海外の見本市等に幅広く出品。
152	高知県 高岡郡 檮原町	上田知子 (平成23年8月29日任命)	農家民宿いちょうの木 くさぶき食堂	山菜採取や炭焼き等の山村体験を提供。自家産野菜の収穫等も自由に行える。「田舎のない人の田舎になりたい」と都市との交流・地域活性化に取り組む。農作物や炭の産直、民宿周辺での自然活動等の相談、講演活動も行っている。

153	福岡県 糸島市	吉村寿敏 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	糸島漁業協同組合 参事	地元の鮮魚や水産加工品等を中心に直売し、人気が高い「志摩の四季」の運営等を担当。また、漁協が冬場に展開する「焼きカキ小屋」も人気で、漁業者の所得向上に貢献。
154	福岡県 筑紫野市	滝剛也 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)ファイル 代表取締役	「木になる紙」普及の中核的役割を担う。「木になる紙」は、売上げの一部を森林所有者に還元することで、消費者と生産者を直接結びつける役割を果たす。また環境保全活動も積極的に展開。
155	福岡県 糸島市	柚木マスミ (平成 23 年 8 月 29 日任命)	惣菜畑がんこ 店長	主に野菜を生産し、自宅敷地内店舗で惣菜として量り売りをするほか、農産物直売所で弁当・饅頭・餅などを販売。また、九州大学でも糸島産農産物を多く使った「糸島旬の弁当」を販売し、工夫を凝らした活動を展開。
156	福岡県 福岡市	養父信夫 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	「九州のムラへ行こう」編集長 九州のムラたび応援団 団長	1998 年より都市と農村をつなぐ活動を開始。 雑誌「九州のムラへ行こう」編集長として、また、九州のグリーン・ツーリズム実践者のネットワーク組織「九州のムラたび応援団」団長として、講演や地域づくりアドバイザーなどの啓蒙活動を展開。
157	福岡県 福岡市	井手修身 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	アイデアパートナーズ (株) 代表取締役	「九州・アジアから日本を元気にしたい」をモットーに、地域の資源（人・もの）とマーケティングを組み合わせた手法により、第 6 次産業化による地域ビジネスを起業し、地域の自立を目指す活動を実践中。
158	長崎県 大村市	山口成美 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(有)シュシュ 代表取締役	2000 年に直売所、農産加工施設、食育体験等の農業交流拠点施設「おおむら夢ファームシュシュ」をオープン。来場者は年間約 49 万人。農業塾による都市住民との交流やグリーンツーリズム、旬の農産物の魅力を伝える取組みで地域の 6 次産業化を実践する。
159	熊本県	松下修 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	松下生活研究所 代表	地域コンサルタントとして、農林水産業再生、顔の見える家づくり、つながりのある町づくり（現代版長屋住宅）、有機農産物直売所等の事業、森林認証支援等に取組む。「木になる紙」を通じた林業・山村活性化にも参画。

160	熊本県 あさぎり町	尾鷹 一範 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(株)尾鷹林業 代表取締役 あさぎり町商工会 会長 あさぎり町農林商工 支援協議会 会長	安全安心な木炭の生産のため、原料木の伐採、製造、販売を一貫して実施。木酢液の生産、新用途の開発にも取組むほか、あさぎり町有林を活用した6次産業化を提案。国内木炭産業の復活、林業再生、人材育成等を目指す。
161	熊本県 上益城郡	松本博美 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	(有)松本農園 代表取締役	グローバル GAP に準拠した安全管理・情報管理のもとでニンジン、大根、ゴボウなどを生産している。自社生産の大根から製造する切り干し大根は、欧州に輸出されるなど高い評価を受けている。
162	熊本県 人吉市	本田節 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	郷土の家庭料理「(有)ひまわり亭」	1998 年に地域のボランティアグループと地域の主婦たちによる地産地消の農村レストランを開店。「食」を通して地域づくりへの貢献や食育活動、女性起業アドバイスにも力を注ぐ。市民参加の町づくりのほか、郷土料理伝承塾を主宰。
163	大分県 宇佐市	宮田静一 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	大分県グリーンツーリズム研究会 会長 安心院町グリーンツーリズム研究会 会長	「安心院方式」という独自の会員制農村民泊が規制緩和の引き金となり、その後の全国の民泊開業に貢献。都市農村交流のさらなる発展のため、バカンス法の制定を目指し活動中。 グリーン・ツーリズム活動に積極的に取り組む一方、自ら生産する「王さまのぶどう」及びその加工品を販売するなど、6次産業化にも取り組んでいる。
164	宮崎県 宮崎市	山口秀樹 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	宮崎みどり製薬株式会社 代表取締役社長	木材成分を活用した商品開発・製造・販売。広葉樹皮を動物用医薬品・混合飼料・特殊肥料「ネッカーリッチ」、杉材を養牛用粗飼料「ウットンファイバー」及び高床式鶏舎用鶏糞ゼロエミッションを完成。地域の豊富な森林資源の有効活用と地場産業である畜産の振興に貢献。
165	宮崎県 児湯郡 西米良村	田爪弥栄 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	田爪林業	430ha の山林を所有する創業 130 年の田爪林業の 4 代目。 平成 16 年に S G E C 森林認証を個人として全国で初めて取得。 平成 18 年から森林認証材を熊本市の住宅メーカー新産住拓(株)に出荷している。
166	宮崎県 諸塚村	尾方針行 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	個人	乾しいたけトレーサビリティシステム導入や、諸塚村シイタケ部会の CoC 認証取得の中心人物。県の林業普及指導員・村・JA・種菌メーカー等と連携を密にし、生産者への技術指導を実践。

167	宮崎県 小林市	四位廣文 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	農業生産法人(有)四位農園 代表取締役社長	130ha の自社直営農場で生産した野菜を自社の農産加工場で加工し、安心・安全で本物の味や機能性を備えた野菜「オーダーメイドベジタブル」を全国に出荷。取引先からの要望にきめ細かく応える収益性の高い経営を実践。
168	宮崎県 延岡市	日高勝三郎 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	日高勝三郎商店 代表	日向備長炭の製造販売、素材生産、造林事業のほか、椎茸生産等多角的に経営。高性能林業機械の導入や、床下用調湿炭等の新製品の開発・販売にも取り組む。宮崎県造林素材生産事業協同組合連合会会長として、県産材の普及や環境教育にも取り組む。
169	鹿児島県 伊仙町	福留ケイ子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	福留果樹園 代表 鹿児島県女性農業経営士	サトウキビ栽培を中心とした農業経営からグアバ、マンゴー、島ミカン等の果樹農家に転換。有機農産物の栽培農家でもある。自家栽培の果樹を原料にしたジュース・ジャム等の加工・販売に取り組む経営の中心となった。
170	沖縄県 浦添市	石原修 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	コープおきなわ 本部長スタッフ	漁協青年部と連携し、未利用魚であったソデイカのゲソを使用したイカ墨ジューシーの開発・販売に参画。販売当初から順調に売り上げを伸ばすことに貢献。その他沖縄県内の地魚を活用した商品開発・販売等を実践。
171	沖縄県 名護市	比嘉雅貴 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	「道の駅」許田やんばる物産センター 取締役支配人兼駅長	県立農業大学校や北部農林高校、生産者、加工業者と連携し、地元食材を活用した新商品の開発に関し販売側からアドバイスするとともに、道の駅で販売。「おきなわ農産物直売ネットワーク会議」の会長として地産地消を実践。
172	沖縄県 大宜味村	喜友名慶子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	きゆな牧場(酪農教育ファーム) 山原女性農業者の会 アドバイザー 沖縄県女性農業士	一級建築士としての会社勤めをやめ、夫とともに大宜味村に移住し、酪農に取り組む。大グリーンツーリズムを取り入れた都市農村交流の実践リーダー。酪農教育ファームでは、小中学生の職場体験、農家民宿等も実施。
173	沖縄県 伊江村	山城克己 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	社団法人 伊江島観光協会 会長	年間約 2.5 万人の県外の中・高校生を民泊で受け入れ、離島の活性化に貢献。地域づくりのイベントやフォーラムで講演実績があり、村議会議員及び観光協会会長として広いネットワークを持つ。

174	沖縄県 本部町	並里哲子 (平成 23 年 8 月 29 日任命)	農業生産法人(有)ア セローラフレッシュ 代表	熱帯果樹、アセローラの栽培を農家へ普及し、ア セローラを原料としたジュース、ドレッシング等 に加工し県外のアンテナショップや地元の直売 店で販売。
175	栃木県 那須郡 那須町	永山優子 (平成 23 年 10 月 20 日任命)	なすとらん倶楽部 運営組合 組合長 栃木県女性農業士	平成 17 年から那須の「食と観光の連携」を推進 し、地域活性化をめざす活動として「なすとらん 倶楽部」を立ち上げ、那須の農業者や観光業者、 レストランのシェフ、道の駅関係者などさまざ まな人たちが参加している。その一環として、道の 駅那須高原友愛の森で「那須の食レストランな すとらん」を運営している。また、毎年「なすと らん会議」というフォーラムを開催したり、新メ ニューの開発、那須の催事や食材を書き込んだ「 那須暦」というカレンダーの発行にも取り組んで いる。
176	福岡県 久留米 市	檜原美智子 (平成 23 年 12 月 16 日任命)	株式会社カラーリン グファーム 取締役	平成 17 年に大臣賞を受賞したラデッシュ(二十 日大根)をはじめ、みずな、ほうれんそうなどを 生産。23 年 4 月に法人化して規模拡大に努め、現 在の作付面積は 6,000 坪。直販や選別段階で廃棄 している野菜の有効活用に取り組むほか、食事に彩 を添える新たな食べ方の紹介など PR にも努めて いる。